



六分一の子どもだんじり (天満神社の秋祭り)

9月定例会

10月臨時会

新しい議会がスタート..... 2P

稲美町総合計画を可決  
議員定数削減などを求める直接請求..... 6P

22年度 決算を認定..... 8P

まちづくりをどうする 7人が一般質問..... 10P

### ちよつとひと言



しげまつ としゆき 重松 敏之さん  
(小池前)

稲美町にお世話になり10年、3年前の「いなみ新春万葉マラソン大会」を機会に、毎日ランニングをするようになりました。(ちなみに41歳で10kmを39分04秒です。)

### 「プラスマイナス0」の生活

今では毎日のように、ランニングに加え、自転車での往復18kmの通勤、週末の野球、バレーボールとスポーツ三昧の生活を送っています。コスモスのまち、自然のまち稲美町で友とお酒を飲み、語らい、バーベキューをしながら楽しく過ごしています。  
稲美町ー最高!!

### 後記



恒守(後列左から池田孝次、長谷川和重、大路半数となり、委員会構成が刷新されました。)  
新しい広報委員(前列左から山本克己、池田いづ子、山口)

今号から、新人議員が全国各地で議会改革の「見える化」が必要です。それには議会だよりを充実させ、読みやすいものにしていくことが不可欠です。みなさんの選んだ議員の働きかたをチェックして下さい。



ササユリのように優しく清らかでありたいと願う「ササユリ会」の皆さん

## 議会インタビュウ「ササユリ会」を訪ねて

### メンバーについて教えてください。

会員は、女性7人、男性2人の9人です。いなみ野学園地域活動養成講座の卒業生と現役生で構成されるボランティア団体「稲美地活会」の一部として、有志で活動しています。

### どのような活動をしていますか。

天満南小学校内にある、なんなん広場ランチルー

ムで、毎週木曜日の午前10時から午後2時まで、注文の都度コーヒーメーカーで沸かした有機栽培珈琲をお出ししています。なんなん広場に訪れるみなさんのふれあいの場になればと思っています。

### グループとして望まれることは、どんなことですか。

町民の方や、なんなん広場を利用されるみなさんが、気軽に来ていただけると思います。(コーヒー



ヒーの収益は、なんなん広場の活動資金にもなっています。また、「稲美地活会」の

会員でない方でも、興味のある方にぜひお手伝いをしていただきたいです。多様な趣味を持ったお客様が来られるので、とても楽しいですよ。

### 町政に対する要望はありますか。

県民交流広場事業が終了し、まちづくり委員会の中で活動を継続されていますが、なんなん広場がいつまでも町民の学び場や趣味を楽しむことができる憩いの場として

### 議会だよりは読んでいますか。

いつも読んでいます。自然な表情の写真を見ると、ほっとします。新しい議員とベテラン議員が協力し、「住んでよかった稲美町」となるよう頑張ってください。(代表 平崎 英子さん)



議長に 池田 博美氏  
副議長に 辻元 誠志氏



辻元誠志 副議長 池田博美 議長



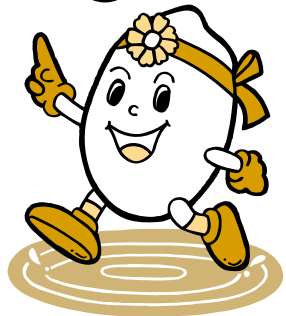
議場に勢ぞろいした16人の議員

10月臨時会

# 新しい議会がスタート

任期満了に伴う町議会議員選挙は9月25日に投開票が行われ、16人の新しい議員が誕生しました。  
任期は、10月1日からの4年間です。  
選挙後、初めての臨時会が10月6日に招集され、議長・副議長の選出、議席の決定、委員会構成などを行い、新体制でのスタートをきりました。

正副議長、  
委員会構成が  
決まりました！



稲美町イメージキャラクター「いなっち」

## 常任委員会

### 生活産業建設

委員長	関灘 真澄
副委員長	赤松愛一郎
委員	長谷川和重
委員	山本 克己
委員	大路 恒
委員	藤本 操
委員	杉本 充章
委員	池田 博美

環境衛生、交通防災、農業振興、都市計画、町道、上下水道などを調査・審査する。

### 総務福祉文教

委員長	福田 正明
副委員長	岡 毅守
委員	山口 誠志
委員	辻元 圭二
委員	木村 敏子
委員	吉岡 孝次
委員	池田 孝次
委員	池田いつ子

企画、財政、税務、福祉、教育などを調査・審査する。

## 特別委員会

### 議会広報編集

委員長	池田いつ子
副委員長	山口 守
委員	長谷川和重
委員	山本 克己
委員	大路 恒
委員	池田 孝次

「議会だより」の編集・発行をする。

### 議会運営委員会

委員長	吉岡 敏子
副委員長	長谷川和重
委員	岡 毅
委員	赤松愛一郎
委員	関灘 真澄
委員	福田 正明
委員	杉本 充章

議会運営に関することを審議する。

### 議会選出 監査委員

池田 孝次

財務、経営などを監査する。

## 健全な議会運営を

議長 池田 博美

10月の初議会で、議長の重責を務めさせていただきましたこととなりました。身に余る光栄と感謝申し上げますと共に、責任の重大さを痛感しています。「地域のことは地域で決める」という町政運営

## 議会の活性化に向けて

副議長 辻元 誠志

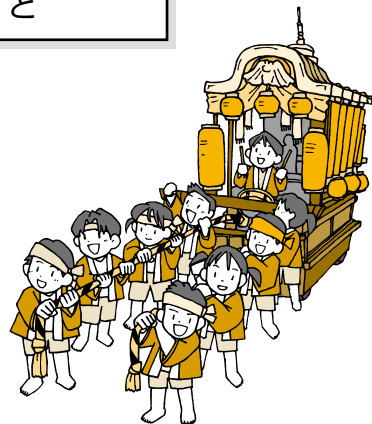
副議長という大役を担うにあたり、その任務である議長を補佐すると共に、議会の活性化に向けて取り組んでいきます。先般の選挙は、新人議員にかける町民の期待の大きさがうかがえました。町の発展のための新しい議論や活動等を活発化していきたい所存です。




# 議員紹介

議席順  
□ は当選回数


- ① 趣味または特技
- ② 好きな言葉
- ③ 任期中に取り組みたいこと





**岡毅** 1

- ① ジョギング、バレーボール
- ② 努力
- ③ 議会のインターネット放送や夕方、土日開催など開かれた議会。



**長谷川和重** 1

- ① 釣り、スポーツ観戦
- ② 初志貫徹
- ③ 安全で快適なまちづくり。少子高齢化社会への適切な対応。

**赤松愛一郎** 1

- ① 魚釣り
- ② 有言実行
- ③ 農業振興に取り組み活気ある稲美町をめざします。



**山口守** 1

- ① ドッジボール審判資格、柔道
- ② さあ、仕事を始めよう。
- ③ 安全 安心の諸施策（道路整備、諸施設の定期点検等）。



**山本克己** 1

- ① 野菜作り、旅行、卓球
- ② 堅忍不拔
- ③ 住民参加型行政と人口減少・農業支援対策の確立。



**大路恒** 1

- ① 読書
- ② 敬天去私
- ③ 高齢者の交通手段の確保と住民が主人公でがんばります。



**辻元誠志** 2

- ① 野球、ゴルフ等スポーツ
- ② 継続は力なり
- ③ 安心した老後のために、その財源確保と人口増のまちづくり。



**関瀬真澄** 2

- ① 健康体操、プチグルメ
- ② 心頭を滅却すれば火もまた涼し
- ③ 今後も身近な議員で民意を的確に反映し輝くまちづくりの提言。

**福田正明** 2

- ① 旅行、ゴルフ
- ② 一生努力
- ③ 安全で安心な活力あるまちづくりをめざして。




**木村圭一** 7

- ① スポーツ観戦、旅行
- ② 昨日から学び、今日を生きる
- ③ 介護保険料引き下げ。中学校給食。巡回バス、巡回タクシー。



**藤本操** 4

- ① 和太鼓、卓球、テニス、野球
- ② 人間らしく生きる
- ③ 情報の伝達・共有、福祉の充実 子どもたちの輝く瞳笑顔のまち。




**吉岡敏子** 5

- ① 旅行、ドライブ、ゴルフ
- ② 人は人によって人となる
- ③ どの世代にも住みやすいまちづくりと現場主義に徹したい。

**池田孝次** 2

- ① スポーツ、野球観戦
- ② 感謝
- ③ 町の活性化と環境整備。農業の振興。



**杉本充章** 2

- ① 詩吟、仏像彫刻
- ② 一期一会
- ③ 南西部の開発。いきいきと輝いて暮せる稲美町をめざします。



**池田いづ子** 2

- ① 料理、活け花
- ② 出会いは生きる力
- ③ 地産地消の中学校給食。学童保育の充実。「地域の足」の確保。



**池田博美** 3

- ① 献血、日曜大工、サッカー観戦
- ② 人事を尽くして天命を待つ
- ③ 教育・福祉の充実。活力あるまちづくり。生活環境の整備。

## 議員に望む



### 町の未来を託し

当選おめでとうございます。皆さんが選挙の公約に掲げたことを、町民の皆さんの一票の重みを感じ、実行してください。

町の掲げる「安心安全な町づくり」、交通アクセスの問題等、色々な問題があります。議員一人一人が町内を歩き、町民の意見を聞き、議員活動に生かしてほしいと思います。

また、行政の議案を審議するだけではなく、議員も議案を出し、行政とよりよいまちづくりを努力されるよう期待いたします。



### 明日に希望を

当選おめでとうございます。世の中は、非常に厳しい現実であり、また少子高齢化の影響も少なくない今日、議員のみなさんには、将来へ向けて希望の種を蒔いてほしいというのが、地域住民の願いだと思います。

クリーンな議会運営を望みます。16人の戦士たちを常に後方から支持、支援をしたいと思えます。特に、新人議員の方々には新しい風を吹き込んでいただき、明日に希望が持てるまちづくりに向け尽力してくださることを期待します。



### 豊かな自然を大切にしたい まちづくりを

当選おめでとうございます。広々とした田園風景、美しい池の自然環境を大事にしつつ活力あるまちづくりをお願いいたします。原発についても関心を持ってください。そして、子どもと老人、障がいを持った人たちにいつも温かい目を向けている議員であってほしい、また地元だけでなく町のことはすべて知っている議員であってほしいと思います。期待しています。



# 9月定例会 稲美町総合計画を可決

9月定例会は8月22日に招集され、9月12日までの22日間の日程で開かれました。7人の議員が一般質問を行い、22年度の決算認定をはじめ、23年度補正予算、条例の改正、総合計画の策定、人事案件など20議案を可決・認定・同意しました。なお、今議会の傍聴者は延べ86人でした。

24年度を初年度とし、33年度を目標年度とする10年間のまちづくりの基本理念や基本目標を示す総合計画が可決されました。

## ○稲美町総合計画基本構想及び基本計画の策定

第4次総合計画が23年度で終了するため、24年度から10年間の第5次総合計画が議案として提案されました。

この総合計画は、将来のまちづくりの指針となるもので、基本構想は、まちづくりの基本理念や基本目標の実現に向けて必要な施策の大綱を示しています。基本計画は、基本構想で示した基本目標を実現するため、施策ごとの現状と課題を明らかにし、それに対する基本方針や施策の内容を示しています。

基本理念  
人と緑のホームタウン  
いなみ  
「万葉の豊かさを協働でつなぐ、活力あふれるまちづくり」

この基本理念に基づき基本目標を定め活力あふれる住みよいまちづくりを進めていきます。また、将来目標人口を3万5000人とし、人口減少に歯止めをかけることが最優先課題となっています。  
(賛成13、反対1)  
—賛成多数 可決—

## 議員定数削減などを求める 直接請求を否決

8月22日に議員定数削減及び議員報酬引き上げの条例制定（改廃）を求める住民からの直接請求書の提出があり、町長から議案が提案されました。

### 〈反対討論〉

木村 圭二

議員の定数は、人口規模や、行政面積など多方面から慎重に検討されなければなりません。議会の権能を低めるのではなく、一層高めるべきである。以上の観点から議員定数のあり方を検討すべきです。

### 〈反対討論〉

池田いつ子

16人から10人への削減は、地盤、看板、鞆を持つた特別な人たちに政治を任せてしまうことにつながる過度な削減である。多様な価値観を持った幅広い層から選出されなければならぬ。少人数による議会運営は無理があ

ると考え反対する。

### 〈反対討論〉

藤井 隆男

検討期間が非常に短い。財政の悪化で22人を10人に減らした岩手県藤沢町の事例があるが、県下12町ではこういうような減はなく、非常に異例な提案であるので反対する。

### 〈反対討論〉

辻元 誠志

選挙直前に出された拙速な案であり、定数10人は、6人で議会運営をされてしまう危険性もある。違った価値観を持った町民の民意を議会に反映するという議会制民主主義が保たれないことになりかねず反対する。

### 〈反対討論〉

鷲野 隆夫

議員の任期直前に定数を16人から10人にする条例改正の直接請求は理解に苦しむ。広く各種団体に意見を求める必要がある。地域性もあり、大幅な削減は拙速であり反対する。

### 〈反対討論〉

杉本 充章

現在の定数は18年に特別委員会で調査し、協議した結果、2人減の16人に削減された。今回は協議できないままの表決となり無謀である。あまりにも議員が少なくと少数意見が反映されないという観点から反対する。

### 〈反対討論〉

関澤 真澄

議会の存在意義と役割を発揮するためには、多様な住民意思を行政に反映させ、政策提案を行うにふさわしい定数が必要である。やみくもな10人への削減は、議会の存在意義と役割を後退させるものと判断し反対する。  
(賛成0、反対13、棄権1)  
—賛成少数 否決—

### 〈反対討論〉

辻元 誠志

議員報酬は据え置ききの条例について  
議長報酬は据え置きの41万5000円、副議長、委員長、議員はそれぞれ5万円増額し、副議長37万円、委員長35万5000円、議員34万5000円に改正する内容です。

### 〈反対討論〉

辻元 誠志

選挙直前に出された拙速な案であり、もう少し時間を置いて議論を要するところである。他市町の動きや民意であるか調査するとともに、報酬審議会等の意見を聴くなど

段階を踏まえて熟慮すべきと考えるので反対する。

### 〈反対討論〉

藤井 隆男

県下12町の議員報酬は最高が30万円、最低が約19万2000円、平均では約24万5000円で、今回提案された金額は非常に高い。町民から批判の出る金額ではないかと考えて反対する。

### 〈賛成多数 可決〉

全会一致

## 人事案件

### ○公平委員会委員の選任に同意

次の方の選任に同意しました。  
任期は27年9月30日までの4年間です。

濱田 俊信 氏（再任）  
住所 加古746

### ○固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

次の方の選任に同意し

任期は26年9月30日までの3年間です。

### 〈賛成多数 可決〉

保月 操 氏（再任）  
住所 加古4697の4

—全会一致 同意—

### ○教育委員会委員の任命に同意

次の方の任命に同意しました。  
任期は27年9月30日までの4年間です。

井本 角友 氏（再任）  
住所 三木市志染町三津田1263  
(賛成12、反対1、棄権1)  
—賛成多数 同意—

## 23年度一般会計補正予算を可決

2億2200万円を増額  
総額9億9857万円となる

### 歳出の主な補正

(千円以下切り捨て)

○減債基金積立事業  
地方債償還のため、地方財政法の規定に基づく基金の積み立て1億7500万円増額

○災害対策活動事業旅費  
東日本大震災に伴う職員派遣旅費101万円増額

### ○学童保育事業

天満学童保育所の新築工事に3534万円増額

### ○いなみ大池まつり委託料

警備上の安全確保の問題から中止した大池まつりの委託料600万円減額

### —全会一致 可決—



楽しいおやつ時間（天満学童保育所）



地域イベントに集うみなさん



# 決算特別委員会

## 22年度 一般会計決算

# 96億5413万円を認定

決算特別委員会は、9月6日、7日、8日の3日間開催し、慎重に審査した結果、各会計とも原案どおり認定しました。決算特別委員会の中で出された一般会計の主な質疑は、次のとおりです。

### 主な質疑

#### 〔総務費〕

##### 交通アクセスの検討状況は

**問** 交通アクセスの検討状況の報告がないが、22年、23年にかけての取り組み、今後の見通し、方向性はどうか。

**答** 現在、交通アクセス検討会において、さまざまな角度から検討を重ねている。住民の意見やニーズを把握し、できるだけ早い時期に稲美町にふさわしい交通手段の導入をしていきたいと考えている。

#### 〔民生費〕

##### 社会福祉協議会の補助金と職員数は

**問** 社会福祉協議会補助金の不用品が多額である。また、地域の福祉がますます求められる中、正規職員数は適正であるか。

**答** 補助金は社会福祉協議会の事業執行残額を不用品としてしている。人件費として正規2人、嘱託5人の計7人分を補助しているが、職員数については今後の課題としたい。

#### 〔衛生費〕

##### ごみ収集業務委託料の積算根拠は

**問** ごみ収集業務の委託料は実績に基づいて支出しているのか。積算根拠はどうか。

**答** 実績ではなく、人件費、車両関係費、諸経費などについて近隣市町も参考にしながら、適切な委託料で契約をしている。

**問** 低コスト稲作実証事業は、毎年補助金も増えているが、成果がでないというところは問題があるのか。

**答** 数年実証を続けており、22年度は72・8畝で面積は伸び悩んでいるが、低コストには十分役立つ。移植にこだわる集落営農もあるが、面積を増やすように他の集落営農にも働きかけていきたい。

### 22年度 各会計決算

(単位：円)

区分	歳入	歳出	
一般会計	10,029,785,272	9,654,139,520	
特別会計	国民健康保険	3,303,634,629	3,277,620,085
	老人保健	7,802,221	7,802,221
	後期高齢者医療	256,880,273	250,806,599
	介護保険	1,872,589,248	1,865,988,711
	介護サービス	14,017,985	14,017,848
	下水道事業	1,006,943,268	1,006,943,268
	農業集落排水事業	327,143,190	327,143,190
	小計	6,789,010,814	6,750,321,922
水道事業会計	収益的収入及び支出	583,088,854	484,240,221
	資本的収入及び支出	139,206,400	346,549,779

#### 〔商工費〕

##### 「万葉のみせ」の活性化は

**問** 「万葉のみせ」の売り上げと運営の活性化はどのように考えているのか。

**答** 22年度の売り上げは約287万円で、町内外のイベントに参加してPRをしている。運営はシルーバー人材センターに依頼し、新商品の検討も進めている。最近はグラウンドゴルフに來られた方が来店され、少しづつではあるが、売り上げも増えている。

#### 〔土木費〕

##### 河川草刈りの実施時期の変更を

**問** 河川の草刈りは2月、3月に枯れた草を刈るのではなく、台風が来る前に刈るようにできないのか。

**答** 河川の草刈りは県からの委託を受けて行っている。住宅密集地は年2回刈っているが、ハザードマップで浸水の危険があるところは、予算の範囲内で刈る場所の見直しを行い、より安心できるような草刈りの計画をしたい。

#### 〔消防費〕

##### エリアメールの検討を

**問** 加古川市では、今回の台風でエリアメールが生かされていた。稲美町もエリアメールの契約を検討できないのか。

**答** エリアメールは検討している。10月から稲美安心ネットを通じて緊急情報がエリアメールで配信される。

#### 〔教育費〕

##### 英語教育指導員の変更による効果は

**問** 英語教育指導員を業者委託に変更したことにより、どんな成果が上がったか。

**答** 今までは中学校のALTを直接雇用していたが、小学校と同じ業者に変更したことで、小中学校で連携した取り組みが可能となり、効果的な学習ができています。

#### 米の消費拡大は

**問** 21年度から試験的に学期に1回、年3回実施されていた米粉パンが、23年度から同じ状態で本格実施されたので、改善がみられず、米の消費拡大になっていない。

**答** パンは地産地消で製造しているため1回に800食が限度のため、学期に1回となっている。他市町の値段、生産体制も研究する。子どもからパンも食べたいとの要求も強いので、米粉パンにしており、米の消費拡大につながっている。

## 本会議における討論

### 一般会計

#### 〔反対討論〕

木村 圭二  
向山の町道に駐車場を作られても全容の調査をしない。防災計画の想定が震度6弱に変わり非常食等の備蓄が縮小された。NPO法人稲美町体育協会、予算不正流用問題に対する町民の不信と不安解消に努める姿勢がみえない。以上の理由で反対する。

#### 〔賛成討論〕

池田 博美  
22年度決算は実質収支が約3億5千万円の黒字となり、良好な運営がなされていると評価する。しかし、NPO法人稲美町体育協会の不明朗会計により町民の不信を招いた。信頼回復とスポーツ振興に努められることを要望し賛成する。

### 〔賛成討論〕

杉本 充章  
稲美町は基幹産業が農業である。老朽化した水利施設はストックマネジメント事業などを推進し、安全で安心な農業のまち稲美町を守ろうとする姿勢がみえる。憩いの館の管理業務は最小限の費用で最大の効果が期待でき、憩いの館も生き返ると思いを賛成する。

### 〔賛成討論〕

井上 進  
実質収支は約3億5千万円の黒字となり、最小の経費で最大の効果が得られるよう努力した結果と評価する。地味であっても人情味のある稲美町を守ることをお願いし賛成する。

― 賛成多数 認定 ―

(賛成13、反対1)

### 議事を傍聴してみませんか？

町議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりを目指して審議をしています。この審議の様子を住民のみなさんに傍聴していただくための傍聴席を、27席設けています。

#### 次回の定例会の日程（予定）

とき	予定されている主な内容
11月28日(月)9:30~	議案の提案理由の説明
12月8日(木)9:30~	一般質問
12月9日(金)9:30~	一般質問
12月13日(火)9:30~	議案に対する質疑・討論・表決

【問合先】 議会事務局 ☎492-9147 (直通)



多くの方でにぎわった「社協福祉ボランティアまつり」

(注1) 不用品  
自治体の決算書における、予算額と実際に支出した額の差額のこと。不用品は、経費の削減などにより支出減となった場合に生ずる。

(注2) 低コスト稲作実証事業  
水稲の直播栽培を推進するため、発芽促進剤の3分の1を町が助成する。育苗し、移植するよりも低コストになる。



# 9月定例会



## まちづくりをどうする

# ここが聞きたい!!

### 「体育協会」の予算不正流用を問う

教育政策部長

指定管理返上の申し出がきている



木村 圭二

①前会長が「通帳がなくなった時期はあったが最終的に決算できた」と話している「証言テープ」を入手した。要旨は「250万円ほど通帳にあるはずの金がなかった」「通帳を新しくつくった」というものだ。所見は。

②総会で、「体協」職員が未払い賃金が指摘された。その後、6月16日の理事会で「間違っていました。Yさんが使っていました」と報告された。所見を聞きたい。  
③NPO法人申請時に県の担当から「暴力団関係



直営に戻された体育センター

者が役員に入っている」という指摘を受け、「町の職員が外すように助言した」という証言がある。調査すべきだ。  
④会計を担当していた男性を告発すべきだ。  
⑤「体協」の指定管理を凍結すべきだ。  
**教育政策部長** ①初めて耳にすることであり、どのような状況での発言かも分からない。真偽も含めて把握してない。  
②総会前に職員は退席したので分からない。  
③事実はない。  
④一般会計に流用はなかったもので、告発はしない。  
⑤「体協」から指定管理を「返上したい」という申し出がきており、受理する。速やかに手続きしたい。  
**町長** 直営に戻し運営することは、やぶさかではない。

### 定住自立圏構想への働きかけは

町長 広域行政をより積極的に推進する



辻元 誠志

2市2町で進めている広域行政を、より効率的に進める方法として、国が進める定住自立圏構想によるまちの構想は。

**町長** 保健医療や福祉、環境など多岐にわたる分野において2市2町を中心とした広域行政に取り組んでいる。現在、ごみ処理の広域化に重点を置

き協議を重ねており、さらに広域行政を推進する。  
**経営政策部長** 定住自立圏構想の申請要件は、中心市とされる加古川市が昼と夜間の構成人口比が1以下の0.875であることから該当しないが、趣旨には同感であるので構想を参考にし、人口の定住を図っていきたい。

**工業用地の確保** 企業が進出したいという申し出に、用地の確保をいかに進めるのか。  
**地域整備部長** 市街化区域の拡大は、編入時に農振除外地であることや開発業者が決まっていることが前提となる。6次産業の立地については県に開発・建築の基準がないのが支障になっている。

**子育て施設の充実** 子ども科学博物館等の大規模な施設より、例えば水辺の里公園に少し手を加えるだけで、魅力ある施設になるのでは。  
**健康福祉部長** 時代、時期をみて工夫していきたい。

### 中学校給食の実施は

町長 財政的な面で最大限努力する



池田 いつ子

1月から播磨町で中学校給食が実施されたのに、なぜ稲美町では進展がないのかと不満の声が広がっている。近隣市町の様子見ではなく、主体的に進めてもらいたい。  
**町長** この問題は教育委員会に任せている。方針が決まれば、サポートし、財政的な面で最大限努力をする。

学校給食は税金が使われるのであるから、稲美町のおいしいお米と野菜を使った小学校と同等の給食を実施すべきだ。  
**教育政策部長** どういうやり方で行うかは、これからの議論で決まる。直に生の声を聴きながら前進めたいと考えている。



天然木の学童保育所 (宝塚市)

**新築の学童保育所は**  
**教育政策部長** 天満学童は手狭なため、早急に拡張が求められていた。県から補助枠が取れたので、新築工事を補正予算として9月議会上げた。  
新築は今までできなかったことを実現するチャンスだ。お金を使うべきところに投資してほしい。  
**教育政策部長** 基本原則があり、あれもこれも対応しきれない。  
基本原則を守っているのは魅力ある子育て支援にならない。木造・太陽光発電設置・静養室・事務スペース等実現すべきだ。  
**教育政策部長** 費用対効果や、ガイドラインを守りながらやりたい。



いなっちゃん稲美町の発展を応援

**(注) 定住自立圏構想**  
地方圏において、一定の要件を満たす「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、文化等の魅力を活用し、連携・協力することにより、住民に必要な生活機能を確認し、人口定住を促進する政策。





グラウンドゴルフに集う高齢者の皆さん  
元気に準備体操

**(注) NIE**  
Newspaper in Educationの略称。「教育に新聞を」と訳され、学校などで新聞を教材として活用すること。子どもたちの活字離れに歯止めをかけることや豊かな社会性を身につけることを目標としている。

教育政策部長 新学習指導要領では言語活動の充実と情報活用能力の向上が求められている。新聞を生きた教材として活用することにより「読解力、思考力、判断力、表現力」等の学力向上に努める。NIEの活用について研究していきたい。



藤本 操

## 体育協会の予算の不正流用問題

教育政策部長 対応は体育協会自身が判断するものと認識



スポーツ施設 (サン・スポーツランドいなみ)

NPO法人稲美町体育協会の会計担当者が予算の不正流用の疑いで(新聞報道では、金額は数百万円に上る)解任。また、給与不払い金問題等、20年にNPO法人稲美町体育協会法人設立申請から様々な問題が起きている。①給与不払い金問題を含め、実態と然るべき処置は。②「経理事務検証改善委員会」はいつまでなのか、公表は行うのか。③「経理事務検証改善委員会」は第3者委員会ではなく、体育協会の身内の委員会ではないか。④町が補助金(115万円)を拠出している(税金)を認識と、教育委員会として早急な全容説明・公表。

然るべき処置は。教育政策部長 ①「22年度、アルバイト給与は遅延していたが、最終的には支払われた。」という報告を受けた。体育協会内部で起こった問題であり、対応は体育協会自身が行うべきだ。②23年8月31日「経理事務検証改善委員会」の報告に記載がない。公表は体育協会が判断するものと考えている。③教育委員会では分からない。④NPO法人稲美町体育協会の報告書をあらためて全議員にお知らせするつもりだが、この問題は公表を含め、対応は体育協会自身が考えるものと認識している。



藤井 隆男

健康福祉部長

## 第5期介護保険料の削減策は

審議を重ね24年1月実施案を答申

平成12年に実施された介護保険制度は24年度に第5期保険料が改正され、一部制度改正が行われる。特徴の一つは「介護人材の確保とサービスの質の向上」「保険料の上昇の緩和」があり、①策定にあたっての重点は。②介護保険を利用していない

高齢者の数は。③介護予防策「いきいきサロン」等の参加状況は。④高齢者の将来の生活、活動に望む事項は。健康福祉部長 ①県の財政安定化基金の有効活用などによる保険料上昇の緩和である。②23年3月末現在、高齢者の被保険

者数は7千221人。その内サービスを受けていない人は84・7%。③56自治会で実施、延べ人数は1万1千4人、1回当り16・8人、年齢層は51歳～98歳、高齢者の平均参加率21%。④高齢者が健康で、経験を活かした地域での活動に取り組みれるよう支援したい。

自治体ぐるみで生きた教材「NIE」の活用を

教育政策部長

新学習指導要領では言語活動の充実と情報活用能力の向上が求められている。新聞を生きた教材として活用することにより「読解力、思考力、判断力、表現力」等の学力向上に努める。NIEの活用について研究していきたい。



関 灘 真澄

## 議員提案の実行は町長の理解が不可欠であるが

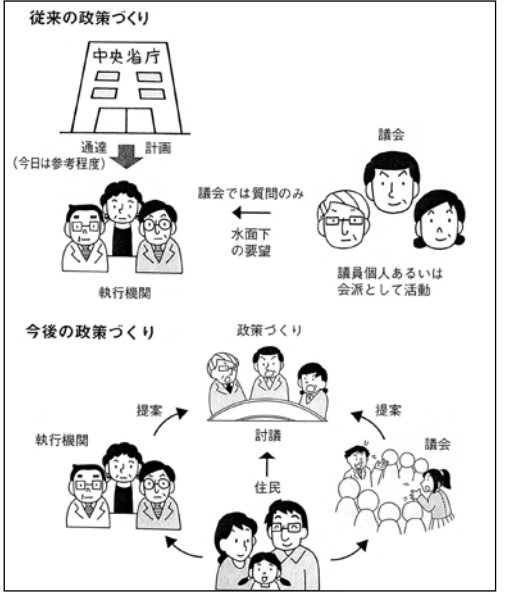
町 長 聞く耳を今まで以上に持つ

地域経済の振興策は

平成2年のバブル崩壊

合議体の議会では、絶えず住民目線で行政機関を監視・チェックする立場を大切に、質問、提言を行ってきたが、その実行には政策の合意が大前提であるため、議論の充実・調査の明確な方向性が必要だ。地方分権の推進をうけ、立法機能の強化が求められているが、町長 議会には議決権、行政には執行権があり、それぞれの役割は異なるが、その根底には住民福祉の向上という共通の目的がある。議会と行政が共通認識を持つことは必要であり、共に議論を深めていきたい。

男女雇用機会均等法施行から今年で25年であり、また県は「新ひょうご男女共同参画プラン21」を新たに策定したが、当町の取り組みは。教育政策部長 今年度は第2次プランの策定年度であり、更に実効性のあるアクションプランを作る。経済環境部長 「地域の特性をいかした活力とにぎわいのあるまち」をめざして各施策に取り組み。男女共同参画社会の推進



政策立案機能 江藤俊昭著「図解 地方議会改革実践のポイント100」から



鷲野 隆夫

## 農地・水・環境保全事業の共同活動支援の今後は 町長 地域に大きな負担を強い方向に進めたい

農地・水・環境保全向上対策(共同支援)は23年度で終わる。今後の取り組みについての考えは。町長 農業の環境を維持するために、地域に大きな負担を強い方向に進めていきたい。23年度からの施設長寿命化のための向上活動支

援は。①参加希望の協議会数は。②参加しない協議会の有無によって交付金の配分が変化することがあるのか。経済環境部長 ①10協議会が、水路、ゲート補修、ため池施設改修を申請。②交付額が増減されることはない。



町内で一番古い福来橋 (草谷)

本年度の橋梁点検の数は。最も古い橋は。地域整備部長 3月末までに160橋の内34橋の点検を行う。草谷川の福来橋が80年経過している。

橋梁点検の実施は

県道の改修工事の進捗は ①天満大池バイパス、六分一ノ国安は。②野谷平岡線で蛸草地域は。③野谷交差点の渋滞解消は。地域整備部長 ①天満橋の工事が24年秋に完成予定で行われ、事業認定手続きなど早期完成を目指して進めている。②未整備区間の用地測量などが終わり、現在用地交渉中である。事業は継続中である。③引き続き土木事務所に要望していく。



# 第5期介護保険事業計画の策定に向けて

## 総務福祉文教 委員会報告

- 委員長 関灘 真澄
- 副委員長 杉本 充章
- 委員 池田いづ子
- 〃 木村 圭二
- 〃 藤井 隆男
- 〃 赤松弥一平
- 〃 池田 博美
- 〃 滝本 悦央



いきいき広場（下草谷）

第5期介護保険事業計画は、23年度が改定年度となり、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を高年齢者福祉計画と一体的に策定する。また、24年4月1日から施行される「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」等も踏まえながら策定する。

今回の制度改正は、地域の実情を踏まえ、認知症支援策の充実、在宅医療の推進、高齢者の住まいの計画的な整備、見守りや配食などの多様な生活支援サービスを事業計画に定める。

**問** 医療病床が介護保険施設等へ転換するののか。

**答** 介護療養型医療施設は、23年度で廃止の方向であったが、今回の法律の改正により6年間延長になった。

計画値より少ないが、第5期は今回の制度改正部分が増える。現在の介護保険事業計画に地域の実情を踏まえて作成するため、アンケート調査を実施して地域のニーズを把握し、検討する。

**稲美町の道徳教育の現状**

教育委員会では、教育振興基本計画の重点目標「夢と志を育てる」に、「豊かな心と健やかな身体の育成」を掲げ、心の教育を重視している。各学校では、様々な体験活動を通して児童生徒が生命の尊重、規範意識の大切さに気づき、基本的な生活習慣や人間関係の基本となる挨拶の習慣等を身に付け、日常生活の中で活かせるよう取り組んでいる。また、今年度新しく購入した道徳副読本を活用し、学校、家庭、地



天満小学校3年生によるリコーダー奏「レッツゴー」

域が連携して進める道徳教育の更なる充実を目指して取り組んでいる。

**問** 道徳教育のカリキュラムは。

**答** 年間を通じて小学1年生は34時間、2年生以上は35時間である。

**問** 道徳担当の教師の研修はあるののか。

**答** 道徳教育担当者を対象に、播磨東管内等で研修会は行われている。

**その他調査事項**

第5次総合計画の策定、コンビニ収納状況、子育て支援事業、図書館・学校連携事業の進捗状況、平成22年度指定管理者の収支決算状況（7月21日・22日開催）



危険看板が設置された葡萄園池

## 生活産業建設 委員会報告

- 委員長 藤本 操
- 副委員長 福田 正明
- 委員 福辻元 誠志
- 〃 池田 孝次
- 〃 植田眞一郎
- 〃 井上 進
- 〃 鷺野 隆夫

# ため池の安全管理について

7月3日に明石市のため池で発生した子どもの死亡事故を受け、緊急ため池安全対策会議を開催し、平年行っている町内ため池安全対策に加え、さらなる啓発活動・安全施設点検行動・危険看板の追加、安全柵の補修・新設等を決定した。

**問** 近年、町内ため池で事故は起こっているのか。

**答** 近年では平成18年に王子池で子どもが落ち、通りがかりの人が救助した事故が発生している。

**問** 危険看板の設置以外に安全策は行っているのか。

**答** 進入路階段に看板を設置すること以外は今のところ考えていない。

**問** 夏休み中のため池パトロールは行うのか。

**答** 夏休み前に小学生、幼稚園児、保護者、地域住民に啓発活動を行った。夏休み中のパトロールについては、教育委員会と相談して考えたい。

**問** 町内にあるため池でも、管理者が町外である池もある。災害時等に対応できるよう、整備すべきだ。



麦の刈り取り風景

**問** 加古川市農林水産課と安全管理について協議したい。

**答** 稲美町の麦作は、集落営農組合を中心として取り組み、平成11年産の作付面積は113.5haであったが、現在の作付は約300haに増加した。対策として収量の向上、品質の向上、生産コストの低減に努めている。

**問** 町全体で麦の販売代金並びに国からの補助金はどれぐらいなのか。

**答** 麦の販売代金は約2千325万円で、国の補助金は1億301万円。

**問** 集落営農組合の経営状況は。

**答** 経営が赤字の営農組合はないと思われる。

**問** 全国的には反当りコストの推移等が農林水産省から発表される。町としても把握が必要だ。

**答** 大型機械の導入により確実に低コスト化につながっている。県の普及センターとも相談して数字をつかんでいきたい。

**その他調査事項**

清掃センターの継続に伴う周辺対策事業の進捗状況、住宅リフォーム補助事業の進捗状況、東日本大震災に関する支援等、平成23年度地籍調査事業、城ノ池公園トイレ新設工事。

（7月26日開催）